

設置の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1	カリキュラムツリー	2
資料 2	履修モデル	3
資料 3	アドミッション・ポリシーと各入学者選抜方式との整合性	5
資料 4	甲南大学専任教員授業担当時間数等に関する規程	6
資料 5	キャリア支援プログラム	9

物質化学科カリキュラムツリー

◎必修科目 ◯選択必修科目 □選択科目

到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A 人文科学、自然科学、社会科学、国際言語文化学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、物質化学と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎共通科目 (導入共通/学際融合等) ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) ◎スポーツ健康マニピュレーション演習 I ◎College English Reading/Writing ◎College English Listening/Speaking ○ College English Topics I ○ College English Project I ○基礎第二外国語 I (ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語/日本語) ○基礎第二外国語 II (ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語/日本語) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎共通科目 (導入共通/学際融合等) ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) ◎スポーツ健康マニピュレーション演習 II ◎College English Reading/Writing ◎College English Listening/Speaking ○ College English Topics II ○ College English Project II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) ◎基礎共通科目 (人文・自然・社会) 				
B 自然科学に関する幅広い教養と基礎学力を修得するとともに、論理的思考に基づいてさまざまな自然科学的現象や概念を正しく理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○化学数学基礎A ○化学数学基礎B IT基礎 物理学通論 I 生物学通論 I 地学通論 I 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学数学基礎C ○化学数学基礎D IT応用 IT基礎 統計基礎 物理学通論 II 生物学通論 II 地学通論 II 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学数学A ○化学のための物理A データサイエンス基礎 情報通信テクノロジー I 統計活用情報分析 II 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学数学B ○化学のための物理B 情報通信テクノロジー II 統計活用情報分析 I 		ICTセキュリティ	基本情報技術	
C 化学の諸分野を正しく理解する上で必要とされる基礎的な知識を修得することにより、より高度かつ分野横断的な学びに柔軟に対応することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ◎化学基礎A ◎化学基礎B ◎分析化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ◎有機化学基礎 ◎無機化学基礎 ◎物理化学基礎 						
D 化学の諸分野における高度な専門知識を修得することにより、多様な物質の化学を純粋理学の側面から正しく理解、説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ○有機化学A ○無機化学A ○物理化学A ○分析化学A 	<ul style="list-style-type: none"> ○有機化学B ○無機化学B ○物理化学B ○分析化学B 	<ul style="list-style-type: none"> ○高分子合成化学 有機構造化学 ○量子化学 反応速度論 	<ul style="list-style-type: none"> 合成有機化学 有機構造化学 量子論 応用分析化学 	<ul style="list-style-type: none"> 応用有機化学 ○結晶化学 固体化学 	
E 応用化学ならびにその周辺分野の専門知識を修得することにより、多様な物質の化学を応用・実用科学の観点から理解し、また研究開発等の現場でそれらの知識を有効に活用することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ◎材料化学基礎 		<ul style="list-style-type: none"> 化学工学 物質化学特別講義1 物質化学特別講義2 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料化学 有機材料工学 材料電気化学 	<ul style="list-style-type: none"> 光材料工学 物質化学特別講義3 物質化学特別講義4 	
F 実験や実習、演習、または文献調査等を正しく実施することができ、さらにそこから得られた情報を整理・分析することで、問題を見つけて解決することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎化学実験 基礎生物学実験 地学実験 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物質化学実験A ラボトリーフィッシング 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物質化学実験B ◎物質化学講座 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物質化学実験C 	<ul style="list-style-type: none"> ○物質化学卒業研究 ○物質化学卒業演習および実習 	
G 高い倫理観と厳格な自己管理のもと、他者と協同しながら責任感をもって専門的な諸作業を実施し、またその結果や成果を社会に分かりやすく説明あるいは還元することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ◎物質化学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 地球ファンデイト 実践ボランティアI 実践ボランティアII 地域プロジェクトI 地域プロジェクトII 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアデザイン ◎化学研究における安全と倫理 技術とビジネス 知的財産とイノベーション I 入門マネジメント 入門ビジネス法務 入門商業簿記I 入門ビジネス会計 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産とイノベーション II ビジネスを支える法の世界 入門商業簿記II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物質化学卒業研究 ○物質化学卒業演習および実習 起業・アントレプレナーシップを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 実践マネジメント 実践ビジネス法務 実践ビジネス会計

物質化学科履修モデル1

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	基礎共通科目	○基礎共通科目 (導入共通/学際融合等)	○基礎共通科目 (導入共通/学際融合等)	○基礎共通科目 (人文/自然/社会)	○基礎共通科目 (人文/自然/社会)				
	保健体育科目	◎スポーツ健康マ ネジメント演習Ⅰ	◎スポーツ健康マ ネジメント演習Ⅱ						
	外国語科目	◎College English Reading ◎College English Speaking ○College English TopicsⅠ ○College English ProjectⅠ	◎College English Writing ◎College English Listening ○College English TopicsⅡ ○College English ProjectⅡ						
専門教育科目	実験研究科目	◎物質化学入門		◎基礎化学実験	◎物質化学実験A	◎物質化学実験B ◎物質化学講座 ◎化学研究における 安全と倫理	◎物質化学実験C		
	基礎科目	◎化学基礎A ◎化学基礎B ◎分析化学基礎	◎有機化学基礎 ◎無機化学基礎 ◎物理化学基礎	◎材料化学基礎					
	基幹科目			○有機化学A ○無機化学A ○物理化学A ○分析化学A	○有機化学B ○無機化学B	○高分子合成化学	○材料化学 ○錯体化学		
	数理科目	○化学数学基礎A ○化学数学基礎B	○化学数学基礎C ○化学数学基礎D	○化学数学A					
	卒業科目							○物質化学卒業研究	
	応用科目					有機構造化学 反応速度論 キャリアデザイン 物質化学 特別講義1 物質化学 特別講義2	合成有機化学 固体化学	物質化学 特別講義3 物質化学 特別講義4	
	自然科学・情報科目	生物学通論Ⅰ	生物学通論Ⅱ	情報通信 テクノロジⅠ					
	キャリア系科目			地域フロンティア 情報通信 テクノロジⅡ	ICTセキュリティ 知的財産と イノベーションⅠ	基本情報技術 知的財産と イノベーションⅡ			

		1年		2年		3年		4年		総数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
全学共通科目	基礎共通科目:16単位以上選択必修	4	4	4	4					16
	保健体育科目:2単位必修	1	1							2
	外国語科目:8単位必修	4	4							8
専門教育科目	実験研究科目:17単位必修		通年2	3	3	6	3			17
	基礎科目:14単位必修	6	6	2						14
	基幹科目:18単位以上選択必修			8	4	2	4			18
	数理科目:10単位以上選択必修	4	4	2						10
	卒業科目:12または6単位選択必修								通年12	12
	応用科目:選択					7	4	2		13
	自然科学・情報科目:選択	2	2	2						6
キャリア系科目:選択			2	2	4	4			12	
合計単位数	21	23	23	13	19	15	2	12	128	

物質化学科履修モデル2

◎必修科目 ○選択必修科目 □選択科目

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	基礎共通科目	○基礎共通科目 (導入共通/学際融合等)	○基礎共通科目 (導入共通/学際融合等)	○基礎共通科目 (人文・自然・社会)	○基礎共通科目 (人文・自然・社会)				
	保健体育科目	◎スポーツ健康マ ネジメント演習Ⅰ	◎スポーツ健康マ ネジメント演習Ⅱ						
	外国語科目	◎College English Reading ◎College English Speaking ○基礎第二外国語Ⅰ (0-F級/クラス級/中級語/韓国語/日本語) ○基礎第二外国語Ⅱ (0-F級/クラス級/中級語/韓国語/日本語)	◎College English Writing ◎College English Listening						
専門教育科目	実験研究科目	◎物質化学入門		◎基礎化学実験	◎物質化学実験A	◎物質化学実験B ◎物質化学講座 ◎化学研究における 安全と倫理	◎物質化学実験C		
	基礎科目	◎化学基礎A ◎化学基礎B ◎分析化学基礎	◎有機化学基礎 ◎無機化学基礎 ◎物理化学基礎	◎材料化学基礎					
	基幹科目			○有機化学A ○無機化学A ○物理化学A ○分析化学A	○有機化学B ○無機化学B ○分析化学B	○高分子合成化学	○材料化学		
	数理科目	○化学数学基礎A ○化学数学基礎B	○化学数学基礎C ○化学数学基礎D	○化学数学A					
	卒業科目							○物質化学卒業演習および実習	
	応用科目					キャリアデザイン 技術とビジネス 物質化学 特別講義1		物質化学 特別講義3	
	自然科学・情報科目	IT基礎	IT応用	情報通信 テクノロジーⅠ					
	キャリア系科目			地域フロンティア 情報通信 テクノロジーⅡ 地域プロジェクトⅠ	ICTセキュリティ 基本情報技術 知的財産と イノベーションⅠ 入門マネジメント 入門ビジネス法務	ビジネスを支える 法の世界	起業・アントレプレ ナーシップを学ぶ 実践マネジメント 実践ビジネス法務		

		1年		2年		3年		4年		総数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
全学共通科目	基礎共通科目:16単位以上選択必修	4	4	4	4					16
	保健体育科目:2単位必修	1	1							2
	外国語科目:8単位必修	2	6(うち通年4)							8
専門教育科目	実験研究科目:17単位必修		通年2	3	3	6	3			17
	基礎科目:14単位必修	6	6	2						14
	基幹科目:18単位以上選択必修			8	6	2	2			18
	数理科目:10単位以上選択必修	4	4	2						10
	卒業科目:12または6単位選択必修								通年6	6
	応用科目:選択					4			1	5
	自然科学・情報科目:選択	2	2	2						6
キャリア系科目:選択			2	4	8	6	2	4	26	
合計単位数	19	25	23	17	20	11	3	10	128	

求める学生像

物質化学科では、化学および関連分野に関する専門的な知識、技能を修得し、これらを活用できる論理的思考力および表現力を備え、自ら問題解決を図る実行力、さらには他者と協調・協働する能力を有した人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。

- (1) 本学科で学ぶ専門的な知識や技能を修得するため、高等学校または相当する教育機関において、理科・数学・外国語を中心とした幅広く基礎的な学力を身につけている。
- (2) 本学科の教育目標を理解して勉学に励み、化学および関連分野に関する専門的な知識や技能、効果的な発表プレゼンテーション能力を、主体性をもって身につけることができる。
- (3) 本学科での学びを通して論理的思考力を養い、高度な専門知識やコミュニケーション能力に基づく問題解決力を活かして現代社会の発展に貢献する意欲をもっている。

入試区分	評価方針	評価内容	知識 技能	思考力 表現力	主体性 協働性
一般選抜 前期日程	高等学校で学んだ、理科・数学・外国語、または理科・数学の基礎的な学力がしっかりと身につけ、物質化学科での学びへと発展していけるかどうかを、筆記試験の成績によって評価します。	教科	◎	◎	
一般選抜 中期日程	高等学校で学んだ、理科・数学の基礎的な学力がしっかりと身につけ、物質化学科での学びへと発展していけるかどうかを、筆記試験の成績によって評価します。	教科	◎	◎	
一般選抜(前期日程・ 中期日程)大学入学 共通テスト 併用方式	高等学校で学んだ、理科・数学・外国語の基礎的な学力がしっかりと身につけ、物質化学科での学びへと発展していけるかどうかを、筆記試験および共通テストの成績によって評価します。	教科	◎	◎	
大学入学 共通テスト 利用型入試	高等学校で学んだ、理科・数学・外国語・情報、または理科・数学・外国語・国語・地理歴史・公民・情報の基礎的な学力がしっかりと身につけ、物質化学科での学びへと発展していけるかどうかを、共通テストの成績によって評価します。	教科	◎	○	
公募制 推薦入試 【教科科目型】	高等学校で身につけた外国語・数学の基礎学力、高等学校における全般的な学習状況、さらに物質化学科の学びに対する適性・学習意欲等を、教科科目の試験、高等学校の調査書、志願者本人が作成する志望理由書・自己推薦書によって総合的に評価します。	志望理由書・ 自己推薦書		○	◎
		調査書	○	○	○
		教科	◎	○	
公募制 推薦入試 【探究活動 評価型】	探究活動において必要である課題を発見し、解決する力と、高等学校での活動状況や、理工学部物質化学科での学習意欲等を、出願書類と面接によって評価します。	出願書類	○	○	○
		面接	○	◎	◎
帰国生選抜	日本の高等学校に相当する教育機関で学んだ、化学に関する基礎的な学力および外国語の基礎的な能力、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と筆記試験の成績および面接によって評価します。	出願書類	○	○	○
		教科	◎	◎	
		小論文		◎	
		面接	○	○	◎
系列校 推薦入学	高等学校における全般的な学習状況、系列校としての高大接続活動への積極的な取り組み、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と小論文によって評価します。	出願書類	○	○	○
		小論文		◎	
指定校 推薦入試	高等学校における全般的な学習状況、高校生活におけるさまざまな活動状況や生活状況、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と面接によって評価します。	出願書類	○	○	○
		面接		○	◎
高大連携 協定校 推薦入学	高等学校における全般的な学習状況、協定校としての高大接続活動への積極的な取り組み、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と高大接続活動によって評価します。	出願書類	○	○	○
		高大接続活動		○	◎
外国人 留学生入試	日本の高等学校に相当する教育機関で学んだ、化学・数学・外国語に関する基礎的な学力、および日本語能力、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と日本留学試験および面接によって評価します。	出願書類	○	○	○
		面接	○	○	◎
編入学試験	他の高等教育機関において学んだ、化学に関する学力、さらに、物質化学科における学びに対する主体性や学習意欲等を、出願書類と筆記試験の成績および面接によって評価します。	出願書類	○	○	○
		教科	◎	◎	
		小論文		◎	
		面接	○	○	◎

○甲南大学専任教員授業担当時間数等に関する規程

平成10年3月27日

理事会制定

改正 平成13年2月23日

平成16年3月26日

平成19年3月23日

平成25年5月24日

平成27年2月27日

令和2年2月28日

令和5年10月27日

第1条 この規程は、専任の教授、准教授、講師及び助教（以下「専任教員」という。）が本大学内において担当すべき授業の時間数に関する基準を定めるものとする。

第2条 専任教員の勤務時間は、授業、研究指導、研修、会議、教務その他の執務を合わせ、毎週40時間とする。

第3条 専任教員が担当すべき授業時間数の基準は、通年の計算として、1週につき次のとおりとし、傷病等やむを得ない事情により基準時間数を担当できない場合は、理事長に届け出て、承認を得なければならない。ただし、大学院担当科目及びジャパンスタディーズ担当科目は、除くものとする。

	教授		准教授		講師		助教	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
講義	10時間	8時間	8時間	6時間	8時間	6時間	6時間	2時間
演習								
講読								
外国書講読								
実験								
実習								
実技								

〔注〕

- (1) 専任教員は、講義のほか演習、講読、外国書講読、実験、実習又は実技を合わせ担当することを原則とする。
- (2) 実験、実習及び実技は、3時間をもつて2時間に換算する。

- (3) 部局長の職にある者及び部局長会議においてこれに準じて考慮する必要があると認められた職にある者については、表中の最高基準時間数から講義2時間を減じたものを最高基準時間とする。
- (4) 最高基準を超えて授業を担当することのできる時間数は4時間とし、最低基準未達の時間数の授業を担当することがないことを原則とする。
- (5) 専任教員が学外において授業を担当しようとするときは、学部教授会等の了承を得て、学長の承認を受けなければならない。なお、学外において授業を担当し得る時間数は、通年4時間を超えないことを原則とする。
- (6) 本大学における専任教員の授業担当時間数の合計が、表中の最高基準時間数を超えたときは、その超過時間に対して超過時間手当を支給する。ただし、注(4)に定められたところにより超過時間手当は4時間分を超えることはない。
- (7) ジャパンスタディーズ科目を担当した時間数については、本規程の定めにかかわらず超過時間手当を支給する。ただし、この場合の授業時間数は第3条に規定する授業時間数に加算しないものとする。
- (8) 超過時間手当は、別に定める。
- (9) 1学科目の聴講学生数が、350名を超えるときは、これを250名以下の組に分けて講義を行うことができる。この場合、授業担当時間数は、実働時間で計算される。また、専任教員が聴講学生350名以上に対して授業するときは、授業担当時間数は実働時間数の2分の3に計算する。
- (10) 削除

第4条 この規程の改廃は、部局長会議及び教授会の審議を経て、学長が提案し、理事会で行う。

附 則

- 1 この規程は、平成10年3月27日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い、甲南大学専任教員授業担当時間数等に関する内規（昭和32年4月11日合同教授会制定）は、廃止する。
- 3 本大学専任教員が、甲南高等学校及び甲南中学校の授業を兼担する場合には、その2時間の授業をもつて大学における講義1時間に換算し、この規程を適用する。

附 則

この規程は、平成13年2月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年11月1日から施行する。

キャリア支援プログラム

2024年度

1年次	自己発見（なりたい自分を探す）	4年間の学習計画と将来への目標設定
	会社見学ツアー	インターンシップ・キャリア実習事前研修・事後研修
	U・I・Jターン就職相談会	理系学生のためのキャリア支援講座
	キャリアアップ（資格）講座	低年次向けキャリアガイダンス
	公務員合格者との懇談会	OB・OG懇談会
2年次	進路選択（自分を高める）	進路実現に向けての知識・能力を取得
	会社見学ツアー	インターンシップ・キャリア実習事前研修・事後研修
	U・I・Jターン就職相談会	理系学生のためのキャリア支援講座
	キャリアアップ（資格）講座	低年次向けキャリアガイダンス
	公務員合格者との懇談会	OB・OG懇談会
3年次	進路活動準備（自ら動く）	自分にあった進路を選択
	キャリアガイダンス	公務員合格者との懇談会
	インターンシップ・キャリア実習選考対策セミナー	インターンシップ・キャリア実習事前研修・事後研修
	志望動機作成ワークショップ	筆記試験対策講座、模擬試験
	面接対策講座	自己PR作成ワークショップ
	グループ面接実践会	グループディスカッション対策講座
	業界研究講座	業界・仕事理解セミナー
	企業研究セミナー	体育会支援講座
	OB・OG懇談会	公務員試験対策講座
	理系学生のためのキャリア支援講座	キャリアアップ（資格）講座
	U・I・Jターン就職相談会	国家資格を持つ方との懇談会
公務員業務研究セミナー	履歴書・エントリーシート添削	
4年次	進路決定（社会へ漕ぎ出す）	自己実現への具体的な活動
	エントリーシート・履歴書添削	個別相談
	模擬面接	個別就職相談会
	学内合同企業説明会	キャリアアップ（資格）講座
	ハローワークによる相談会	